

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	透析患者のブラッドアクセスへの再穿刺率低下への取り組み
研究責任者	腎センター看護課 小野見帆
研究実施体制	聖隷浜松病院腎センター 研究責任者：腎センター看護課 小野見帆 研究分担者：腎センター医師 清水吉貴 腎センター看護課 大倉美穂 腎センター臨床工学技士 釜下正俊
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2023年12月31日
対象者	2022年6月～2023年5月の間に聖隷浜松病院外来通院中の維持透析患者さん(108名)
研究の意義・目的	透析患者さんの穿刺の実態を把握し、再穿刺率が高い要因を見つけ職場全体で対策に取り組むことで、再穿刺率を下げることを目的としています。再穿刺率が下げることで透析患者さんの苦痛を減らし、患者満足度を上げることができると考えます。また、スタッフの穿刺に対しての知識や技術向上につなげたいと考えています。
研究の方法	①データの分析 透析システムダイアコムから再穿刺している患者さんとその回数のデータを抽出 穿刺振り返りシート内から情報を抽出、再穿刺者のスタッフの区分(医師・看護師・専属CE・ローターCE・教育中)、患者さんの年齢・透析歴・合併症・ブラッドアクセスの情報、シャントエコー情報、穿刺カンファレンスから穿刺時の状況、今後の対策 ②当院外来維持透析患者さんの穿刺数の把握。 ③再穿刺回数を把握し以下の計算式で再穿刺率をだし、変化をみる。 再穿刺率＝再穿刺本数/(患者数×2本)×100 ④腎センター内での再穿刺率低下のための取り組みを分析、評価する
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 腎センター看護課 (氏名)小野見帆 TEL:053-474-2222(代表) 腎センター 9:00～16:00 平日